

コスモス通信 2022年 新春号

発行：在宅ケアステーション
コスモス

大津市坂本6丁目6-31

TEL(077)579-4022(代表)

FAX (077) 579-0443

デイサービスセンターコスモス～ようお越し ☎077-577-1116

10月 バラ園（湖西浄化センター）外出

今年の春は、コロナの影響にてバラ園の開園が中止となり残念でしたが、10月は開園されるとのことでさっそくみんなで外出してきました。天気にも恵まれ、色鮮やかなバラに皆様とてもご機嫌でした。「また、行きたい」と言われる方が多く、来年もバラ園へ行けるように、今から計画していきたいと思います。



11月 紅葉ドライブ



11月は、紅葉ドライブに出掛けました。日吉大社や皇子山、近江神宮とドライブしてきました。段々と気温も下がり肌寒い感じでしたが、とてもきれいに紅葉していて、そのきれいさに「わー、きれい」と拍手される方も多かったです。



園芸クラブ

今年もコスモス畑に冬野菜を植えました。小さい畑ですがレタスや壬生菜、青梗菜など今から収穫するのがとても楽しみです。なかなか野菜を育てるのは難しく、利用者様からも畑のことについて色々アドバイスをもらい一緒に栽培しています。



コスモスヘルプステーション～ヘルパー小町 ☎077-579-4061

みなさま 健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。マスク着用やうがい、手洗いがしっかり習慣化され、今年は年末年始の外出をされた方も多かったのではないのでしょうか。



さて、多職種連携という言葉をお聞きになったことがあるでしょうか？一人の利用者さんに対し、医師や看護師、ケアマネジャーやヘルパー事業所、デイサービス、地域包括支援センターなど多くの職種が関わり、コミュニケーションをとりながらケアにあたります。コスモスヘルプステーションでは、今年も多くの職種と協力しながらより良いケアを利用者さん提供できますよう、職員一同、日々精進いたします。本年もどうぞよろしくお願いたします。



訪問看護ステーションコスモス～ナースの一言

☎077-579-4022

☆新年明けましておめでとうございます☆

皆さま、年末年始はいかがお過ごしでしたでしょうか？
コロナ・地震…等まだまだ不安が尽きない世の中ではありますが…。
今年も心に残るエピソードを紹介させて頂きたいと思います。



あるご夫婦のお話。利用者であるご主人は100歳に手が届きそうな年齢。奥様は10歳程年下。ご自宅の南側の大きな窓からは庭を眺めることが出来ます。庭には奥様の趣味で四季折々の木や花が植えられています。「季節により表情が変わる庭を眺めるのが慰めです。」とお二人。訪問すると毎回「何も変わりありません。変わらないのに来てもらって悪いくらい。」と仰います。それでいいのです。変わりが無い事を確認することも私達の役割です。とてもゆったりとした時間の中で過ごされているお二人の姿がいつも心を穏やかにしてくれます。

※訪問看護では12月に新たな職員1名を迎えて、看護師計8名体制で訪問看護を提供しています。これからもよろしくお願ひいたします。



コスモス居宅介護支援事業所～こちら、ケアマネ

男女4人のチームで活動中です。



介護保険の申請、サービス利用等に関する相談を随時受け付けています。まずは、お気軽にお電話ください。

☎077-579-0442



施設長の山田です。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます



一日一笑

新型コロナウイルス感染が人々の生活を変化させて約2年。

マスク生活も当たり前になり、気がつけばお互いまったく素顔も知らないままの方もおられます。

私達大人は目をみて相手の気持ちも少しは推し量れますが、子供たちはけんかして勇気を振り絞った「ごめんね」の音が届かずトラブルになることもあるようです。

また乳児が「他者の動く表情」を目にする日常経験は脳と心の発達にとっても重要だそうで、目や口がダイナミックに動く表情を目にしながら喜びや怒りなど相手の感情を理解する能力を発達させるそうです。『いい子だね』などと相手が口から発する音声とそれともなう口の動きの視覚情報を統合しながら言語を獲得し、相手の表情を理解し、その表情や音声をまねすることで、相手の心を想像する心、共感する心などを発達させていくそうです。

基本は笑顔！私達コスモスの職員は、今年も「マスクの下はいつも笑顔！」で、皆様の心に寄り添える様努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

